

泡瀬の わらべ歌



あいさつ

琉球の島々では、祭祀で歌われる歌から楽しみとして歌われる民謡まで、生活のさまざまな場に応じ琉球のこぼと独自の節回しで歌われる音楽が伝えられています。

子どもたちも、遊びや手伝いの中でいくつもわらべ歌を自然と聞き覚え、歌っていましたが、こうしたわらべ歌は社会の変化とそれに伴う言語と暮らしの変化に伴い歌われることが少なくなり、現在の子どもたちは伝統的なわらべ歌のほとんどを知らずに育っています。

しかしながら、わらべ歌は、伝統的な音楽様式や言語に加え、かつての子どもたちの世界と文化を生き活きと伝えてくれる貴重な資料です。

沖縄市教育委員会ではこうした貴重な資料であるわらべ歌を記録保存するため、1988年から2002年にかけて、市内の明治後半から昭和初期生まれの高齢者をたずね、こどもの頃に歌った歌を思い出して歌ってもらい調査を実施しました。

本書は沖縄市泡瀬地域での調査の成果を取り上げて「泡瀬のわらべ歌」としてまとめたものです。市民の皆様に、郷土の文化を知り・親しむ手がかりとして本書をご活用いただければと存じます。

結びに、本書の作成にあたり、調査にご協力いただいた歌唱者はじめ地域の方々、調査と執筆に当たられた比嘉悦子先生に厚く御礼申し上げます。

2023（令和5）年3月

沖縄市教育委員会
教育長 比嘉 良憲

はじめに

I 「泡瀬のわらべ歌」について

- (1) 「泡瀬のわらべ歌」は沖縄市泡瀬のわらべ歌調査で採集された歌から代表的な歌を45曲選んで掲載しました。この45曲には、わらべ歌以外に、行事や信仰に関わる歌謡、民謡、となえ言葉、小学校で覚えた歌なども含んでいます。
- (2) 歌の選定においては、採集歌全体のなかでバランスを考慮しつつ、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担うこともたちに歌い継いでほしい歌を優先して選択してあります。
- (3) 同じ歌でも、地域によって旋律が多少変化して歌われる歌があり、その場合は、地域の特徴を出すために別曲として独立して掲載しました。
- (4) 歌者については、巻末の「泡瀬のわらべ歌調査月日別一覧表」に歌唱者名を掲載してありますので、参考してください。

II 調査について

- (1) 沖縄市のわらべ歌調査は1988年に開始しました。
- (2) 泡瀬での調査は1990年から1993年にかけて、泡瀬・泡瀬三区在住の高齢者を対象に10回行なわれました。
- (3) 採集歌は212歌が採集されました。なお、採集された歌数にはわらべ歌だけではなく、ハーリーや綱引き、盆などの年中行事の際に歌われる歌9歌、籠の仕立て祝いなど祝い歌2歌、小学校で覚えた歌1歌、ことわざ5歌、言葉遊び2歌、唱え言葉2歌、その他の民俗歌謡36歌が含まれています。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。

III 調査および編集担当

調査	比嘉悦子、宮城昭美、波平裕子、波平節子
採譜	比嘉悦子
資料整理	宮城昭美、八田夕香
編集	比嘉悦子、八田夕香
イラスト	八田夕香





凡例

I 歌詞と表記について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌、あやし歌、まりつき歌、遊び歌、動物・植物の歌、自然・天体の歌、教訓歌、からかい歌、歳時の歌、その他に分類した。
- (2) 表題は歌いだしの句をとってつけたものが多いが、動物・植物の歌は歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやし言葉、擬音についてのみカタカナで記した。
- (5) 歌詞の表記の中で、のぼして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」（引音）で示した。

II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。

例) ・  や  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。
・  や  は歌尻を下げる唱法を示す。

- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特にこどもたちの歌いやすい高さにあわせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわるさまざまな生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し、次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 楽譜につけられたメトロノーム表記は、採録時の歌唱により近い速度を示したものである。歌唱者のほとんどが高齢者であるため、こども時代に歌われた歌が必ずしもその速度であったかどうかは断定できない。歌を再現する時は、楽譜に記された速度にとらわれないでもよいと思う。

目次

あいさつ	1
はじめに	2
凡例	3
目次	4

《子守り歌》

① 耳 ^{みみ} 切り坊 ^{ぼく} 主 ^ぢ の歌	7
② いったーあんまーまーかいが	8

《あやし歌》

③ イッシングー	9
④ 赤 ^{あか} 田 ^た 首 ^{くび} 里 ^り 殿 ^{どの} 内	10
⑤ イーユータークー	10

《まりつき歌》

⑥ ていーちえー天 ^{てん} ばる	11
⑦ いえーあんまー	12
⑧ いっくわていたみゆ	13

《遊び歌》

⑨ イッチクタッチク	14
⑩ イッポーカッポー	15
⑪ おならの歌（鬼決め）	16
⑫ いっとうがよー（おはじき歌）	16
⑬ いったー主 ^ぢ や（おはじき歌）	17
⑭ ミンパーカンパー（ぶらんこの歌）	18
⑮ 天 ^{てん} ぬはーめーぐわー	18

《動物・植物の歌》

⑯	いさとうー (かまきり)	19
⑰	ちんなん (かたつむり)	19
⑱	ほたるの歌	20
⑲	あじけー (しゃこ貝)	21
⑳	ありの歌	21
㉑	片爪蟹ぐわー (泡瀬潟原ぬ)	22
㉒	牛・馬・山羊の歌	23
㉓	さーじゃー (鷺)	23
㉔	からすの歌	24
㉕	芋ぬ葉やんぶち	25

《自然・天体の歌》

⑳	とーとーめーよー	26
㉑	あーかーなー	27
㉒	あぬ星ていーち	28
㉓	雨どーやー	28

《教訓歌》

⑳	親ぬ言るくとう聞かんわらべー	29
㉑	ていんさくぬ花	29

《からかい歌》

⑳	堂ぐわー屋敷ぬたんめー	30
㉑	喜屋武ぐわーたんめー	31
㉒	あまから来ーる美らじゅりぐわー	32
㉓	昔ぬひっちょー	32

《歳時の歌》

⑳	いい正月やー	33
㉑	にんぶちやからに	34

《その他》	
③8	いったーとーとーめーとう 36
③9	御 ^ご 嫡 ^{ちやく} 子 ^し 37
④0	唐 ^{たう} やかんぶー 37
④1	北 ^{きた} 谷 ^や 屋 ^や 良 ^ら 村 ^{むら} 38
④2	泡 ^あ 瀬 ^せ やっちーたー 39
④3	雷 ^{らい} よけの呪 ^{まじな} 文 ^{ぶん} 40
④4	地震 ^{ちゆしん} よけの呪 ^{まじな} 文 ^{ぶん} 40
④5	美 ^み 東 ^{とう} 尋 ^{じん} 常 ^{じょう} 小 ^{しょう} 学 ^{がく} 校 ^{がう} 校 ^{がう} 歌 ^か 41
	泡瀬のわらべ歌調査月日別成果表 42

① ^{みみち ぼーじ} 耳切り坊主の歌

♩ = 92

うふむらうどんぬ かどうなかい みみちりぼーじぬ
 たつ ちよんどー なーちゆる わらべー みみぐすぐす
 へいよ へいよー な くなよー うみーがうみーが
 しかすんど じたぐわん さばぐわん くますんどー
 へいよー へいよー な くなよ

^{うむらうどん}
大村御殿ぬ かどうなかい

^{みみち ぼーじ} ^た
耳切り坊主ぬ 立っちよんどー

^な ^{みみ}
泣ちゆる わらべー 耳ぐすぐす

へいよー へいよー ^な
泣くなよー

うみーが うみーが しかすんどー

^{じた} ^{さば}
下駄ぐわん 草履ぐわん くますんどー

へいよー へいよー ^な
泣くなよー

② いったーあんまーまーかいが

♩ = 80

The musical score is written on three staves in 3/4 time. The first staff contains the melody for the first line of lyrics. The second staff contains the melody for the second line of lyrics. The third staff contains the melody for the third line of lyrics, ending with a double bar line. The lyrics are written below the notes.

いったあんままかいが ー べーべぬくさかいが
べーべぬまさぐさやはーるぬわかみんな
あんぐわ そーてい

いったーあんまー まーかいが

べーべぬ ^{くさ}草刈いが

べーべぬ ^ままさ草や

はる ^{わか}わか
畑ぬ若みんな

あんぐわー そーてい

③ イッシングー

♩ 112

イシグ はなたたちゃ やんばるぶにぬ

いっちょんど あかしん たむぬん こみそらに

とうないぬは めに かたんなよ ありがとうたむぬん

あがらすくとう シクテ シク

イッシングー はなたたちゃー

やんばるぶに 山原船ぬ い 入っちょんどー

あかしん たむぬ 薪物ん こ 買みそーらに

とうない 隣ぬはーめーに かた 語んなよ

ありがとう たむぬ 薪物ん あ 上がらすくとう

シクテー シク

④ あかた すんどうち
赤田首里殿内

♩ = 108

あかたすん - どうんち - くがにどうる
さがてい うりがあか - がいね
みるくゆが - ふ シヤープ - シヤープ

あかた すんどうち くがにどうる さ
赤田首里殿内 黄金灯笼 下がてい
うり^{あか}が明^{あか}がいね - 弥勒^{みるくゆ}世界^{がよ}報
シーヤープ - シヤープ

⑤ イーユータークー

♩ = 96

イユタクシシメメ トフ うまから うじんぬしちやから
むしぐわぬほ ていクイクイクイ

イーユータークー シーシー メーメー トーフーうまから
うじん しちや わし はー
御膳^{うじん}め^{しちや}下^{わし}から虫^{はー}ぐわぬ^{はー}這^{はー}てい クイクイクイ

⑥ ていーちえー^{ていん}天ばる

♩ = 126



ていーちえー^{ていん}天ばる たーちえー^{たなばる}柵原

みーちえー^{ゆなばる}与那原 いちちえーいちかし

むーちえーむんばら ななちえー^{ながはま}長浜

やーちえー^{やんばる}山原 くぬちえー^{くんじゃんに}国頭船から

^{なふたたび}那覇旅とうーれー

^{なふぬ}那覇ぬがじゃのー ^くうちゆえー^{じゆ}強ーさぬ

^{うみ}海ぬはな けんけん さくぬはな けんけん

⑦ いえーあんまー

♩ = 108



いえー あんまー につたーかまどーぐわーや

どんどん^{びら}坂から ^うり^{ぬふ}りたい上たい

わた^やぬ^{ちぶる}やりどー 頭^やぬ^やりどー

い^ささ^いさいさ やほーやぶやぶ

かかたんてーまん ^{のー}治^{ちん}とうらさん

あとー ^{くし}後^ぬかまどーぐわーが ^{のー}治^ちとうらちえーたん

う^{らんじ}りが恩^じえー ちゃ^{うく}っさ^{うく}送たが

じん ^しぬ^{ぐる}つゝわん ^{くみ} 米^いぬ^す一^す升^す二^す升 ^{うく}う^くっさ^く送^くや^くび^くたん

⑧ いっくわていたみゆ

♩ = 104

いっくわていたみゆ いちむんぬ ななぬやぬ
くまぬいなぐわぬ ちるぐわや しんじゅぐんじゅなるまでい
うとんむたさん やーんぬくんど んなむじでいきらち
むたさや ちるぐわ ちるぐわあんしみそりよ あんまあんま

いっくわていたみゆ

いちむん なな やー
一門ぬ 七ぬ家ぬ

くまぬ^{いなか}女んぐわぬ ちるぐわーや

しんじゅぐんじゅ^{うとん} 四十五なるまでい 夫^む持たさん

やーん^ん 来^ん年ぬくんどー んなむじでい^まき
稲^む麦出来らち

持^むたさやー ちるぐわー ちるぐわー

あんしみそーりよー あんまー あんまー

⑨ イッチクタッチク

♩ = 92

イツクタッチクじゅーにかにかちくむくちんぼらぐわ

うどんぬくしうていみくーていこん

くーるがエイ

イツクタッチク じゅーにかにかー

ちくむく ちんぼーらーぐわー

うどん ぬくし
御殿ぬ後うてい みーくーてい

こんくーるが エイ

⑩ イッポーカッポー

♩ = 108

イッポカッポ じゅにかにか ちくむく ちんぼらぐわ うどんぬ
 くしうてい みく てい こんく るがエイ ぐじゃぬか
 ぐじゃぬか ぐじゃぬ たつ ちよる まかてが じゅ しち
 くらひち すん かみんじゃり ぶ ひき

イッポーカッポー じゅーにかにーかー

ちくむく ちんぼーらーぐわー

御殿ぬ後うてい うどん ぐし みーくーてい

こんくーるが エイ

ぐじゃぬか ぐじゃぬか

ぐじゃぬ^た立ちよる

まかてーが^{じゅーしち}十七 くらひちすん

かーみんじゃーり ぶーひき

⑪ おならの歌（鬼決め）

♩ = 108

くぬひ やた が ひ ちやるひ しまぶくまやが ひ ちやるひ

くぬ^{ひー}屁や た^ー誰がひちやる^{ひー} 島袋^{しまぶくまやー}猫が ひちやる^{ひー} 屁

⑫ いっとうがよー（おはじき歌）

♩ = 100

いっとうがよ にとうがよ さんとうがよ しとうがよ ごとうがよ

ろくとうがよ ななとうがよ はっとうがよ きゅうとうがよ じゅうとうがよ

いっ 二^{にー} 三^{さん} 四^{しー} 五^{ごー}
 一とうがよー 二とうがよー 三とうがよー 四とうがよー 五とうがよー

ろく 七^{なな} 八^{はっ} 九^{きゅう} 十^{じゅう}
 六とうがよー 七とうがよー 八とうがよー 九とうがよー 十とうがよー

⑬ いった^す-主^や (おはじき歌)

♩ = 96



いった^すや^ぬなが^{さん}ら^な あん^しえ^な い^なや^さ

いった^す-主^や ぬ^な-名^が

^{さん}ら^な
三良名

あん^しえ^な-な^い い^な-名^やさ



⑭ ミンパーカンパー（ぶらんこの歌）

♩ = 80



ミンパーカンパ うち^ちあげ^あらち な ひん^あが^わて^いんに^あが^り

ミンパーカンパー う^ち月^ゆー上^あが^らち

な^あーひん^あ上^わが^らわ 天^{てい}に^あ上^がり

⑮ ^{てい}天^いぬは^あーめ^あーぐ^あわ^あー

♩ = 116



^{てい}ぬ^あは^あめ^あぐ^あわ^あみ^あ ゆ^あみ^あみ^あ ら^あに^あ あ^あぬ^あち^あま^あん^あたん^あ く^あぬ^あち^あま^あん^あたん

^{てい}天^いぬは^あーめ^あーぐ^あわ^あーや^あ 見^あーゆ^あみ^あ 見^あーら^あに

あ^あぬ^あ月^あま^あん^あたん^あ く^あぬ^あ月^あま^あん^あたん

①⑥ いさとうー (かまきり)

♩ 92

いさとう いさとう がん もり ゆ びぬぬくえ ぬ くたが
あかま み る くわ た る だん じゅがだん じゅが くすばらばら

いさとうー いさとうー がんもーりー

ゆーび ぬく 昨夜ぬ残えー ぬーくたが

あかまーみーくろ 赤豆る喰たる

だんじゅが だんじゅが ぐす 糞ばらばら

①⑦ ちんなん (かたつむり)

♩ 120

ちんなん ちんなん ぼ ふいた んまが しかさん ゆみしかち

ちんなん ちんなん ぼーふいた

んまが 孫ーしかさん ゆみ 嫁しかち

⑱ ほたるの歌

♩ = 120



じんじん ^{やま}山さき ^{きたやぬめ}砂糖屋ぬめんじ ^{く-くん}粉喰てい

^う落ていりよー じんじん ^さ下がりよー じんじん

⑱ あじけー (しゃこ貝)

♩ 80

あじけ ぬすー よーす うすん みちゆれーよ

あかんぐわぬなちゆれーよ ゆるちくいみそーれ

あじけーぬ ^ナ主よー ^ナ主
 うす ^み潮ん満ちゆれーよー ^{あか ^{ぐわ}な}赤ん子ぬ泣ちゆれーよー
 ゆるちくいみそーれー



⑳ ありの歌

♩ 116

あいこ あいこ どうしゆでいく がにくぬめ んじ がにやちくいら

あい ^{あい}蟻こー ^{どうしゆ}蟻こー 友呼でいくー
 がにくぬ ^め前んじ ^{がにや}蟹焼ちくいら

②1 ^{かたじみがい}片爪蟹ぐわー ^{あーしかたばる}(泡瀬潟原ぬ)

♩ = 116

あしーかたばるーぬ かたじみがいぐわ
 むるびさちんう てい --- あちゃーか
 ダ ヤ あ さーてい サー いちむんすりとてい
 ないさが かーい --- サー がにぐわー
 がにぐわ むるびさちんう てい ---

^{あーしかたばる}泡瀬潟原ぬ ^{かたじみがい}片爪蟹ぐわー ^{びさ}むる足ちんうてい

あちゃか ダーヤー あさてい

サー ^{いちむん}一門 ^す揃りとてい な ^{いさ}一医者がかい

サー ^{がに}蟹ぐわー ^{がに}蟹ぐわー ^{びさ}むる足ちんうてい



② 牛・馬・山羊の歌

♩ = 80

うしやはなふがち うまやむげ はきてい あきよ

ひじゃぐわ まくび くん らつ てい

うし はな 牛や鼻ふがち うま 馬やむげーはきてい
あきよー ひーじゃー 山羊ぐわー まくび くんらつてい



③ さーじゃー (鶯)

♩ = 88

いえひやさじゃ いやくべ たがちゆくたがあんますが ちゅくいやんてい

いえーひやー さーじゃー
いやー首ー 誰が作たが
あんまー 主が 作いやんてい

②④ からすの歌

♩ 132



いーくとう^{かた}語りよー やなくとう^い言ーねー いやー^{ういー}上どーやー

②5 ^{んむ ふぁー}芋ぬ葉やんぶち

♩ = 84



んむぬふぁやーんぶちーだきぬふぁやだかち



すていちばぬーなかぐうむいみそーり



うむたらわーさとうめーしまとうめていいもり



しまやなかーぐしくはなぬいしゃーど

^{んむ ふぁー}芋ぬ葉やんぶち ^{だき ふぁー だ}竹ぬ葉や抱かち

^{すていちば}蘇鉄葉ぬなかぐ ^{うむ}思いみそーり

^{うむ}思たらわ里前 ^{さとうめー}島とうめー ^{しま}ていいもり

^{しま なかぐしく}島や中城 ^{はな いしゃどー}花ぬ伊舎堂

②⑥ とーとーめーよー

♩ = 138



とーとーめーよー とーとーめー

まーかいめんしえが とーとーめー

くぶしぬ^{はま}浜かい 蟹^{がにとう}取いが

蟹^{がにとう}取てい ぬーすが

わー^{うむ}思やーに くいーんてー

いやー^{うむ}思やーや 誰^{たー}やが

じよーぐや^{ちち} 十五夜う月ゆーやみせんどー

②⑦ あーかーなー

♩ 132



あかなよーあかなーまかいめんしえがあかな



とないぬはまかいがにぐわとういがうんじょめんそーらに



がにぐわとうていぬすーがわうむやにくいゆんで



いやうむややたやーがとんちぬめぬちゅうらうくさん

あーかーなーよーあーかーなー

まかいめんしえがあーかーなー

とない はま がに とう
隣ぬ浜かい蟹ぐわー取いが

うんじょーめんそーらに

がに とう
蟹ぐわー取ていぬすーが

うむ
わー思やーにくいゆんでー

うむ たー
いやー思やーや誰やが

とんち めー ちゅ うく
殿内ぬ前ぬ美ら奥さん

②⑧ あぬ星^{ふし}ていーち

♩ = 120



あぬふ^いてい ち わん^{てい} ち あぬふ^{した} ち わん^た ち



あぬふ^{しみ} ち わん^み ち あぬふ^{しゆ} ち わん^ゆ ち



あぬふ^{しい}ち ち わん^いち ち

あぬ星^{ふしていー}一ち わん^{ていー}一ち あぬ星^{ふしたー}二ち わん^{たー}二ち

あぬ星^{ふしきー}三ち わん^{みー}三ち あぬ星^{ふしゆー}四ち わん^{ゆー}四ち

あぬ星^{ふしいち}五ち わん^い五ち

②⑨ あーみー
雨^{あーみー}どーやー

♩ = 100



あ み ど やー た ば ぬ す た ば ぬ や ん じ く わ き り よ

あーみー 雨^{あーみー}どーやー たーば 田^{たーば}場^{すー}ぬ^{すー}主 田^{たーば}場^{やー}ぬ^{やー}家^{くわ}ん^{きり}じ 隠^{くわ}き^りよー

③〇 ^{うや} ^ゆ ^ち 親ぬ言るくとう聞かんわらべー

♩ 112



うやぬゆるくとう ちかん わらべ いちまん ゆみなち



かみぬあんだ こみそり かみぬあんだ こみそり

^{うや} ^ゆ ^ち 親ぬ言るくとう 聞かんわらべー ^{いちまんゆみ} 糸満嫁なち

^{かみ} ^{あんだ} ^こ 髪ぬ油ー 買ーみそーり ^{かみ} ^{あんだ} ^こ 髪ぬ油ー 買ーみそーり

③① ていんさぐぬ花 ^{はな}

♩ 116



ていんさぐーぬ は ーな や ち みさち に す み てい



う やぬゆーし ぐ ーとう や ち むにすーみ り

ていんさぐぬ花や ^{はな} ^{ちみさち} ^す 爪先に染みてい

^{うや} ^ゆ 親ぬゆしぐとうや ^{ちむ} ^す 肝に染みてい

③^{どー} 堂ぐわー^{やしち} 屋敷ぬたんめー

♩ = 112

どぐわーやしちぬたんめーさい あたびーどいがー
 めんそーらに うむにーかでいから いちゅさ
 わんにんいちゆくとう まーちよーけ またんまた
 ん

^{どー} 堂ぐわー^{やしち} 屋敷ぬたんめーさい

^{あたびーと} 蛙取いが めんそーらに

^{うむにーか} 芋練食でいから ^い 行ちゅさ

わんにん^い行ちゆくとう ^ま 待っちょーけー

^ま 待たん ^ま 待たん

③③ ^{ちゃん}喜屋武ぐわーたんめー

♩ = 108

ちゃん ぐわ たん め ぬん ち^{にん} とー が さきく^わてい

にん とー さ ちゅーん^くわれ あちゃん^くわれ

^{ちゃん}喜屋武ぐわーたんめー ぬーんち^{にん}寝とーが

さきく^わてい ^{にん}寝とーさー

ちゅー^くわれ あちゃん^くわれ

今日ん喰れー 明日ん喰れー

③④ あまから来^{ちゅ}ーる美^{ちゅ}らじゅりぐわー

♩ = 69



あまからちゅる ちゅらじゅりぐわー しん だん ぎ から け うていてい



よ じょ ひ じょ - するえ ま こーぐちん まが てい



シ ヤブ - シ ヤーブ わたぶとうめ - わたぶとうめ
み みんめ - み みんめ

あまから来^{ちゅ}ーる 美^{ちゅ}らじゅりぐわー 梅^{しんだんぎ}檀木^ごから けー落^うていてい

養^{やうじょ}生^{じょ}ひーじょー するえーま 腰^こちん^ま曲^まがてい

シーヤブー シーヤブー みーみんめー みーみんめー

わたぶとうめー わたぶとうめー

③⑤ んかし 昔^{んかし}ぬひっちょー

♩ = 88



んかしぬひっちょ ふりむん や んまが しかさん ゆみしかち

んかし 昔^{んかし}ぬひっちょー ふりむんやー 孫^{んまが}ーしかさん 嫁^{ゆみ}しかち

③⑥ ^{そーぐわち} いい正月やー

♩ = 104

い そーぐわちや んめーんたん めん わかみじとみそ

ち いやーん わ かく なたら や ひや わつ たん

わかくなてい ちゆーやたぬしみ あしびん だな

んまがぬちゃーあち みてい

^{そーぐわち}
いい正月やー

んめーん たんめーん ^{わかみじとみ} 若水取りそーち

いやーん ^{わか} 若くなたらやーひやー

わったーん ^{わか} 若くなてい

^{ちゆー} ^{たぬ} 今日や ^{あし} 楽しみ 遊びんだな

^{んまが} ^{あち} 孫ぬちゃー集みてい

③⑦ にんぶちやからに

♩ = 66



にーんぶーちーやーかーらーにーゆ
あーかぶーちーうーんまーにーか



ーまーりーゆーいーしーるー
ーたーみーらーていーていーだー



ぶーちーやーかーらーにーぬー
ぬーまーひーるーまーにーうー



しーらーりーていーすーりーうーまん
くーらーりーていー



にんぬしんかやう



じまーていーん なちー



ふーゆーていーらーすーるーにー



ていーぬーふぬーゆーくーりまーていーし



ーちーぐわーちなーかーぬーとうーか

にんぶちやからに ^ゆ読まりゆい

^{しる}白ぶちやからに ^ぬ乗しらりてい

^{あか}赤ぶち馬に ^{かた}担みらてい

^{ていだ}太陽ぬ真昼間に ^{うく}送らりてい

スリ ^{うまんにん}御万人ぬしんかや ^{うじょー}御門までいん

^{なちふゆてい}夏冬照らす ^{にー}子でいぬ方ゆ

くりまでい七月 ^{なか}中ぬ十日 ^{とうか}

《編集註》

わらべ歌ではありませんが、貴重な資料と考えこの本に収録しました。

歌唱者は調査当時は泡瀬地区の在住でいらっしゃいましたが、ご出身はうるま市宮城島です。歌唱者によるとこの歌は葬送の様子を示したもので、歌唱者の母がお盆のときなどに先祖供養の念仏として歌っていたのを聞き覚えたとのことでした。

③⑧ いったーとーとーめーとう

♩ = 108

いった ととめとう わつ た ととめとう え かがやたら あん しにちよーる

や み とどうやたが や

いったーとーとーめーとう

わったーとーとーめーとう

うまーが
親戚がやたら に あんし似ちよーるやー

みーとう
夫婦どうやたがやー

③ ぐちゃくし 御嫡子

♩ 60

ぐちゃくしやっ ちや ゆーか ていー こ じゃ うぶんど うさがゆる

じ なん さん なん ー なから やん むるくわ ちーど

スん サ ミ ー スん サーミ スリ

ぐちゃくし
御嫡子やっちーやゆかてい こーじゃー御盆^{うぶん}ど うさがゆる

じなんさんなん
次男三男なからーや 芋^{んむ}るくわちーどー

スんサーミー スんサーミー スリ

④ とー 唐やかんぶー

♩ 108

とーやかんぶ やまと だん ばち ーさらばうちな かたかしら

とー
唐やかんぶー やまと一断髪^{だんぱち}

さらば沖繩^{うちなー} かたかしら

④ 1 ちやたん やらむら
北谷屋良村

♩ = 100

ちやたん やらむら りんどあしやぎ - - りんどあしやぎ

ふいーた ちやーが たいたつ ちょん サーサ うさぐわん かま

ぐわん くく りり - - よ いった - たいや

ちやたん やらむら りんどー 伝道あしやぎ りんどー 伝道あしやぎ
 ふいーたーちやーが たい 二人 立っちょん
 サーサ うさぐわん かまぐわん 心得りよ
 いったー たい 二人や

④^{あーし} 泡瀬やっちーたー

♩ = 104



^{あーし} 泡瀬やっちーたーが でいちゃでいちゃしーねー

んばんばーすなよー

ありが ふちゅくるや

サー ^か香ばし ^{あんだ}油ぬ ^{にう}匂いぬ ^い入っちよんどー

サー ふんぬか やーひゃー まるみかなー

④③ 雷よけの呪文

ありひゃー ^{かんない} 雷どーひゃー

^{くわーぎ} 桑木ぬ ^{しちや} 下でーびる

④④ 地震よけの呪文

^{じしん} 地震どーひゃー とーちか とーちか

ありひゃー ^{ねー} 地震ぬ ^の 揺いんどーひゃー

とーちか とーちか

④^{びとう} 美東尋常小学校校歌

♩ = 112

こじゃとーばる お ぎとと たきばるひゃーごん よぎあわせ

つどう はるから いっせん よ まなびのみちを いそしみて

こじゃ とーばる おーぎと
古謝 桃原 大里と

たきばら ひゃーごん よぎ あわせ
高原 比屋根 与儀 泡瀬

つど はるから いっせんよ
集う同胞 一千余

まな みち
学びの道を いそしみて

《採譜者註》

歌唱者は速いテンポで歌っていますので、校歌らしいテンポにしておきました。

この歌は途中までしか歌われていないと思われるので、譜面には終止記号を付していません。

泡瀬のわらべ歌調査月日別成果表

採集歌数：212曲

番号	歌者ID	歌者名	生年	出身地	1990年 7月12日	1990年 7月19日	1990年 7月30日	1990年 8月1日	1991年 3月11日	1993年 3月17日	1993年 3月21日	1993年 3月31日	1993年 4月6日	1993年 4月19日	計
1	2001	雲山カメ	明治31(1898)	沖縄市泡瀬	39										39
2	2002	喜屋武千代	大正 9(1920)	与那城町宮城		10									10
3	2003	高江洲敏子	不明	不明		3									3
4	2004	石部カマド	明治28(1895)	沖縄市泡瀬		1									1
5	2005	佐久本トヨ	明治38(1905)	沖縄市泡瀬三区		7		1							8
6	2006	高江洲キヨ	明治39(1906)	沖縄市泡瀬三区		3	2								5
7	2007	佐久本國幸	明治39(1906)	沖縄市泡瀬三区			6	5							11
8	2008	喜久原幸	大正 5(1916)	沖縄市泡瀬						24					24
9	2009	高江洲シズ	明治43(1910)	沖縄市泡瀬							18	16			34
10	2010	当真幸子	明治43(1910)	沖縄市泡瀬三区							18	8			26
11	2011	奥間ヒデ	大正 6(1917)	沖縄市泡瀬							17	7			24
12	2012	高江洲マズル	明治30(1897)	沖縄市泡瀬									26		26
13	2013	喜久原ツル	明治28(1895)	沖縄市泡瀬										22	22

※歌者数について

この表は歌者それぞれが歌った曲数を示しており、1つの歌を複数の歌者で合唱している場合は歌者毎に1曲の歌として計数している。これによる重複のため、歌者毎の歌者数の合計は採集歌数とは一致しない。

※出身地について

調査当時に歌者から得た回答を、修正を加えずそのまま表記した。そのため、現行の市町村名や住所表示とは異なる地域名で記載されている場合がある。

沖縄市文化財調査報告書第52集

泡瀬のわらべ歌

令和5年(2023)年3月31日発行

発 行 沖縄県沖縄市教育委員会

編 集 沖縄市立郷土博物館
〒904-0031
沖縄県沖縄市上地 2-19-6
TEL098-932-6882

印 刷 (有)曙印刷
沖縄県沖縄市泡瀬 4-31-15
TEL098-938-7884



2023年3月
沖縄県沖縄市教育委員会